指定管理者評価表

様式1

1 基本情報

(1)公の施設の名称

堺市立大浜体育館、大浜公園野球場、大浜公園テニスコート、大浜公園相撲場 三宝公園野球場、浅香山公園野球場、土居川公園テニスコート

(2)施設の設置目的

市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため設置

(3)所管部局

文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課

(4)指定管理者名

堺市教育スポーツ振興事業団・ミズノグループ (公益財団法人堺市教育スポーツ振興事業団、美津濃株式会社)

(5)指定期間

平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)

(6)主な事業

- ①施設の管理運営に関する業務(使用申込の受付等・利用料金の徴収・施設、設備、器具及び備品の維持管理・堺市スポーツ施設情報システムに関する業務・コミュニティスポーツ用具の貸し出し・利用案内等に関する業務・その他の事業実施に関する業務)
- ②自主事業の企画及び実施に関する業務(スポーツ教室の企画及び実施・トレーニング講習の実施・その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業)③その他の業務(職員の雇用、配置、研修・施設内の目的に適したスペースの利用・目的外使用の取扱い・文書管理・業務報告・統計資料等の作成・関係機関等の連絡)

(7)有料施設の有無

有(利用料金制)

(8)公募・非公募の別

公募

(9)主な利用者

(10)市内における受益対象者数

市民

不特定多数

(11)近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標

無

2 管理運営状況

(1)特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

昨年度同様に第2研修室・第3研修室を少人数で卓球やダンス等で利用いただき、利用者増加や稼働率向上に取り組んだ。

(2)利用者サービス

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	指定管理者	名	堺市教育スポー ツ振興事業団・ ミズノグループ	堺市教育スポー ツ振興事業団・ ミズノグループ	堺市教育スポー ツ振興事業団・ ミズノグループ	堺市教育スポー ツ振興事業団・ ミズノグループ	大浜リライトグ ループ
ア	利用者数	(人)	344, 407	314, 180	309, 346	314, 588	
利用者数の算出 方法					:受ける報告書 は予約人数、教:		
	市による状況	記分析	目標達成とはい 安定した利用		ぶ、災害や施設 にた。	設備の不具合も	あった中で

1	稼働率 (%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	
	稼働率の算出方 法	利用者が予約する全てのコママ		を1コマとし、	、使用したコマ	・・使用でき
	市による状況分析	前年度と比較し	して、ほとんと	の施設でやや	減少している。	

ウ	利用者満足度(%)	89	89	90	93	
利用者満足度の 測定方法 平成31年1月12日~20日(9日間)に各施設の利用者約400名 に実施したアンケート調査結果に基づき算出。詳細は事業報告 アンケートを参照。						
	市による状況分析	依然として、i 年で最も高いi	高い満足度を維 満足度となった	É持しており、! -。	特に平成30年	き度はここ数

(3)管理体制等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ア 職員数(人) ※ _{各年度4月現在}	14	14	14	12	11
イ 職員研修(回) ※ _{令和元年度は予定回数}	10	9	4	3	3
ウ要望、苦情等(件)	6	11	2	1	_
工事件、事故等(件)	8	20	10	15	_

市による状況分析	要望・苦情等は年々減少している。事故等については、平成30年度は熱中症を発症する利用者が多く、年間を通しても比較的多かった。クールスポットの設置や注意喚起の徹底等により事故数が少なくなるように引き続き努めてほしい。
----------	---

(4)収支状況(単位:円)

				.11.	
t⊑	ᇁ	答	玾	丵	叛
171	ᄮ	=	ᆦ	未	バカ

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
ア収入	指定管理料	82, 450, 000	81, 513, 586	81, 495, 896	86, 853, 205	85, 172, 000
	利用料金	42, 493, 990	43, 376, 310	43, 757, 240	40, 786, 930	42, 400, 000
	負担金					
	その他収入	1, 296	1, 296	1, 296	10, 503	633, 000
合	計	124, 945, 286	124, 891, 192	125, 254, 432	127, 650, 638	128, 205, 000
		•			•	
イ 支出	人件費	39, 055, 785	39, 162, 852	40, 221, 482	36, 475, 240	39, 555, 000
	委託料	34, 425, 606	34, 665, 965	35, 047, 298	34, 747, 963	37, 330, 000
	に占める委託料の割合	(28.7%)	(29. 1%)	(28.0%)	(27.3%)	(29. 1%)
	修繕費	4, 938, 526	4, 063, 586	4, 045, 896	9, 403, 205	6, 308, 000
	光熱水費	30, 533, 339	29, 828, 152	31, 275, 374	29, 098, 381	31, 500, 000
	その他経費	11, 203, 950	11, 356, 185	14, 396, 191	17, 508, 262	13, 512, 000
合	計	120, 157, 206	119, 076, 740	124, 986, 241	127, 233, 051	128, 205, 000
利用者一人当たりの支出額		_	_	_	_	_
ウ収支差	差額	4, 788, 080	5, 814, 452	268, 191	417, 587	0
エ 市への納付金の額		0	0	0	0	0
オ 徴収委の徴収	託の場合 【額	_	_	_	_	_
市による状況分析			入は対前年度り 費削減の影響も			

■自主事業 (有)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(予算)
ア収入	21, 190, 313	21, 082, 283	19, 883, 151	18, 404, 329	15, 343, 100
イ 支出	25, 162, 698	26, 132, 494	24, 585, 253	22, 948, 789	14, 729, 636
ウ収支差額	-3, 972, 385	-5, 050, 211	-4, 702, 102	-4, 544, 460	613, 464
エ 市への納付金の額	0	0	0	0	0
オ事業数(回)	1, 289	1, 137	1, 192	1, 154	
カ 参加者数(人)	24, 149	25, 554	24, 365	22, 134	

主な自主事業 スポーツ教室事業・体育館フェスタ等イベント事業・軽食販売 事業・飲料自動販売機設置事業

市による状況分析

収支状況は赤字であるものの、毎年安定した参加者数を確保している。次年度以降は、赤字となっている教室を縮小するなどの収支改善 に向けた提案を受けている。

3 目標管理、評価等

(1)適正な管理運営の確保

	評価の 指標	利用者満足度	(設定理由)	適正な管理運営ができているかが 利用者満足度に表れるため
目標管理	目標	仕様書目標値:満足度80%以上 次のとおり快適な施設環境の提供に努め、 利用者満足度の向上を図ること。 ①公平公正な利用機会の提供 ②施設の安全確保の徹底 ③利用者ニーズに基づく事業実施 ④苦情の適切・迅速な対応 年度事業計画書目標値:利用者満足度85% 以上(「とても満足している」「満足している」の割合)	(設定理由)	継続して良質な施設環境を提供するため。
	実績	職員の適切な接遇対応 満足度 93% 施設・設備等の安全確保の徹底 満足度 81% 利用者ニーズに基づく事業実施 満足度 77% 苦情の適切・迅速な対応 77%	(分 析) ※目標未達成 時は詳細な原 因分析	全体の満足度において仕様書の目標を達成することができた。 今後も誰もが快適に利用できる環境を構築 し更なる満足度の向上をめざしていきた い。
	施設類 やや不 満 4% 満足 60%	員の対応 不満 2% 2% 本語 とでも満 足 34% とでも満 足 20% 雑足 56%	不識 31 やや不記 122	利用者の意見原映 おからな 要望・苦情への対応 いい 6% 不満 3% とても満足 128 148 単足 50%

平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項

適正な人員配置で管理運営を行い、年間計画に基づき研修も実施した。また、利用者に安全、安心してご利用いただけるよう、職員が毎月施設の安全点検を行った。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

トレーニング室の利用方法について苦情・要望があり、 具体的に対応した。

		指定管理者の自己評価	市の評価					
	評価	A	A					
評価等	具体的な理由	ビスの提供に努めた。さらに、施設の公共性を認 識し、公平、公正に管理運営を行った。また、利 用者が安全にスポーツに取り組むことができるよ	足している」56%)と昨年度に引き続き高い評価					
	対応策等	引き続き、各種研修を行うことで、職員のスキルアップを図り、より良い利用者サービスを提供し満足度向上につなげる。施設の老朽化を鑑み安全点検に力を入れ、利用者に安心、安全に利用していただけるよう努める。	質の高い接遇、施設不具合への迅速な対応及び利用者ニーズを反映した事業の実施を行い、引き続					
	s	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務 を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回	る改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準 る成果があり、特に優れているもの					
i 評 i 価 i 基	Α	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準 を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの						
準	L	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の						
	ļ	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要な						
D 管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの								

(2)利用者サービスの向上への取組

目標 標標 標		 年間利用者数スポーツ教室事業参加者数	(設定理由)	利用者サービスの向上により施設利用者の 増加が図られるため。
理	標	利用者数が前年度比2%増 教室参加者数が前年度比2%増 (平成24年度 延べ25,608	(設定理由)	前年度より多くの方に利用いただくため 施設利用者、スポーツ教室参加者ともに 前年度比2%増を目標とする。
		スポーツ教室参加者数	※目標未達成 時は詳細な原	雨漏り等には、迅速な修繕対応により、減少リスクを最小限に止め、施設利用者数の増加につなげた。なお、スポーツ教室参加者数の減少は、地震、台風などによる利用中止が影響している。





重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の 反映等に関する特記事項

利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊 利用者サービスを考え、気軽に少人数でもご利用いただ けるよう研修室の利用種目を増やし、用具の貸出しも 行った。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対 応

体育館ロビーに意見箱を設置し、利用者からの意見や 要望があり次第、迅速に対応している。

		指定管理者の自己評価	市の評価		
	評価	В	В		
評価等	具体的な理由	老朽化に伴う雨漏り、空調系統の不具合もあったが、迅速に修繕を行い、施設利用者数は昨年より増加した。 スポーツ教室においては、災害による中止の影響もあったが、一部の種目については気軽に参加いただけるよう、内容の見直しも必要と考えている。	一般利用者に気軽に運動していただくための積極的な共用利用の設定や第2・第3研修室の少人数利用の実施等の成果もあって、施設利用者数は昨年度より増加した。また、利用者からの要望・苦情等に対し迅速に対応した。		
	対応策等	今後も施設修繕等が必要になることを鑑み、出来るだけ早期に計画的に対応し、利用者に迷惑が掛からないよう努める。また、利用者の意見に沿った教室やイベントを企画し利用促進に繋げていく。	利用者ニーズに応じた教室やイベントの開催及びHPやチラシ等の媒体を活用した広報活動により、引き続き利用促進を図っていただきたい。		
<u> </u>	S		改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準		
===	る成果があり、特に優れているもの				
評価		る改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準 ているもの			
基 B 概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの					
	С	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なも			
<u> </u>	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が。	必要なもの		

(3)収支の実績

目標	評価の 指標	利用料金収入			施設の利用を促進し安定した利用料金収入(設定理由)を確保することにより、利用者サービスの維持向上が図れるため。				
	目標	仕様書目標値:年額 40,000千円以上 年度事業計画書目標値:利用料金収入 43,453千円以上			(設定理由		適正な管理運営を実施するため、予算額は 指定管理者の目標とみることができるた め。		
理	実績	利用料金収入40,786,930円			(分 析 ※目標未達成 時は詳細な原 因分析)もあ 用彩 の利	台風被害、施設の大規模修繕工事等の影響 もあり、年度事業計画書に掲げた目標の利 用料金に達することが出来なかった。平日 の利用促進策を重点的に行い、利用料金の 増加に取り組んでいきたい。		
			44,000,000 43,000,000 42,493,990 42,000,000 41,000,000 40,000,000 39,000,000	43,3	376,310	57,240	(円) 40,786,930 30年度		

収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項

フットサル大会や大浜フェスタなど、幅広い年齢の方に 参加いただけるイベント等を開催し、体育館の認知向上 を図った。

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応

特になし

		指定管理者の自己評価	市の評価					
評価等	評価	В	В					
	具体的な理由	老朽化による施設の不具合が発生し、利用中止せざるを得ない状況があった。 利用率向上の取り組みとして、少人数で利用できる施設や、比較的利用率の低い柔道場や剣道場などにおいて、ダンスや体操など武道以外の利用を可能にした。	施設の不具合や記録的な猛暑の影響もあり、利用料金収入は昨年度を下回った。一方で、大浜フェスタをはじめとする各種イベントの開催等により、体育館を知っていただく機会を創出し、安定した利用料金収入を確保した。					
	対応策等	引き続き広報活動を積極的に行い、利用者 サービスの質の向上を図り利用料金収入の 増収をめざす。 また、安定した管理運営を図れるよう、適 正な施設の維持管理、及び経費削減に取り 組みたい。	平日の利用促進策の工夫や各種媒体による 広報活動、必要に応じた共用利用の設定に より、引き続き利用料金収入の増加に努め てほしい。					
評価サ		効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準 を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの						
		効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準 を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの						
基準		概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの						
		仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの 管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの						